

## 第12回日物応物男女共同参画連絡会 議事メモ

日時：2018年10月2日（火）14:00～16:00

場所：日本物理学会 4階小会議室

出席者：

<日物>板倉明子（物材機構）、小形正男（東大院理）、倉本義夫（高エネ研）、  
笹尾真実子（同志社大）

（事務局：根岸事務局長、宮野佳織、岡村裕子）

<応物>増田淳（産総研）、松木伸行（神奈川大）、小川賀代（日本女子大）

（事務局：塩尻誠子、白石陽子）

### 【議題・報告等】

- 1) 前回議事録と日物応物連絡会名簿確認<資料1>
- 2) 2019APPC@マレーシアへの対応について<資料2>
- 3) その他<資料3>

議事：

0) 日物・応物両学会出席者の自己紹介がされた。

1) 前回議事録案について

各自で確認をし、修正・追加の必要があれば、事務局まで連絡する。

2) 2019APPC@マレーシアへの対応について

笹尾委員より、AAPPS傘下のワーキンググループであるWomen in Physics (AAPPS WG on WIP) のホームページが準備中であることが紹介された。ワーキンググループメンバーとして笹尾委員の名前が掲載されているが、日物応物男女共同参画連絡会の責任者である増田委員に交代する旨を、笹尾委員からワーキンググループへ連絡する。

なお、三年に一度のIUPAP WIP国際会議の報告の後、日物応物男女共同参画連絡会の責任者が交代する際に、ワーキンググループメンバーも次期責任者へ交代となる。

ワーキンググループの主な活動内容は、APPCにおけるインフォーマルミーティングの開催、アジア地域のメンバーリストの作成、HPの作成および活動内容のアジア地域への発信である。

AAPPS WG on WIP のホームページ：<https://sites.google.com/view/aappswip/>

今回のAPPCは2019年11月17-21日にマレーシアで開催予定。応物から、APPCでの発表内容の例として、機関誌へ掲載している男女共同参画に関する統計データを紹介した。日物と応物の入退会者の年齢別ヒストグラムを共通のフォーマットでまとめることで、両学会の特色を議論できるという意見があった。

増田委員より、応物の男女共同参画委員会が費用削減を強く求められていることの説明があった。国際会議へ委員を派遣する際の費用は、委員会予算ではなく、基金に都度申請して確保している。申請回数を減らすことで基金からの支援を受けやすくするため、IUPAPとAPPCの主担当を決め、応物はIUPAPへ、日物はAPPCへ委員を派遣することを提案した。

日物の男女共同参画委員会では、WIPの活動に対して議論した結果、WIPの活動内容を良くしていくために働きかけるという結論に至っているため、IUPAPもしくはAPPCの片方のみに参加を絞るということは受け入れられない。また、日物応物男女共同参画連絡会の設立時の趣旨として、日物と応物が対等の立場で同じように国際会議へ参加す

ることになっているので、2019年のAPPCに応物が委員を派遣せず、日物のみが委員を派遣するという提案に対しては、理事会で審議が必要である。

以上を踏まえ、日物、応物のどちらが国際会議へ参加するかは都度決める、発表は共著とするという方針を、11月10日の日物理事会にて審議することとなった。

### 3) その他

11月17日開催のやっぱり物理が好きについて紹介があった。

以上